

田和山通信

平成29年秋号 2017年10月 編集:堀 暁



松浦松江市長との会見(報告) 2017年10月2日 松江市庁舎市長応接間にて

6月と9月の市議会で、田和山遺跡復元住居の現状について質問があり、市長はさっそく現場確認のうえ、対策を講じる旨答弁されました。そのさい、史跡の再整備には田和山サポートクラブとの協働が必要ということで、今回の会見になりました。理事会有志で2回の会合を開き、要望書の形にまとめ、前もってまちづくり文化財課を通したうえでの会見でした。出席者は田中会長、堀副会長、三宅理事、大石理事の4人で、市側は市長、歴史まちづくり部長、同次長(まちづくり文化財課長、次長)、室長の4人です。

私たちの要望書の要点は1)早急に復元住居の修復をお願いしたい、2)しかるべき責任者を史跡に配置してほしい、3)サポートクラブは史跡公園を生涯教育、学校教育の場に使いたいと考えているので、教育委員会を含めた市側の協力をお願いしたい、ということです。

これに対して市長は、再整備については国の補助金申請をするが、その際には史跡の今後の活用方針について聞かれる。それについてはサポートクラブとの協働が必要である。同クラブはこれまで任意団体として曖昧な形で動いてきたのが実情だが、今後は指定管理団体として名乗りを上げてほしい、という趣旨でした。ただ、今の体制ではNPO法人化も困難なので、市として新規会員の募集に関わってゆくこともやぶさかではない、との話もありました。

NPO法人化して経営していけるかどうか?サポートクラブの現状では、まず不可能ではないかと思われます。どういう形で「おやま」に関わっていくのか、いま、大きな岐路に立っているのではないのでしょうか。

臨時理事会の開催

前に手紙でお知らせしましたが、臨時理事会を10月14日、10月28日、11月18日、12月2日の四回にわたって開催します(いずれも土曜日、13時-16時、田和山館にて)。

特に10月14日の初回は、今後の田和山サポートクラブの長期活動方針を定める重要な会です。NPO法人化が可能かどうか?、会の活動の中心をどこに置くか?等々が議論されます。臨時総会的な意味合いがありますので、理事だけでなく、会員の多数の方々に参加をお願いします。

10月28日は来年度事業計画案、11月18日は来年度予算案を検討し、12月2日は全体討議の予定です。

11月の田和山秋祭り

9月9日の「田和山重陽の節句祭り」は好評のうちに無事終了しました。

前回のお知らせでは11月11日(土)に秋の収穫祭祭りをする予定でした。しかし、臨時理事会等行事が重なっており、11月25日(土)に延期させていただきます。

内容はこれから詰めていきますが、宜しくご理解くださるよう、お願い申し上げます。

土日の当番

最近は土日の当番制が崩れているようです。田和山館のカレンダーに出勤可能な方が名前を書くということでしたが、なかなか田和山館に来ることもできない方がほとんどです。

もう一度、お手間ですが葉書による申告と調整という方法をとらせてください。

里山の会員とも連携を図ります。基本的に10-13時、13-16時の3時間制で、天候不順の日は自己判断で休みにしてください。



田和山重陽の節句祭り
2017年9月9日
日野原七重氏の指導で
ガラス細工を作る子供
たち